

# 社会思想史

成立と確立の時代を生きる

2015年3月7日

安藤隆穂

# 目次

- ▶ 20世紀と社会思想史
- ▶ 社会思想史の個人史的参照文献
- ▶ 社会思想史：二つの方法
- ▶ 社会思想史の個人史
  
- ▶ 1968年：戦後社会科学の思想
- ▶ 『社会思想史概論』（1962年）の世界
- ▶ 『フランス啓蒙思想の展開』（1989年）
  
- ▶ 戦後思想批判と歴史像
- ▶ パリの窓から
- ▶ 『フランス自由主義の成立』（2007年）
- ▶ 研究の現場から
  
- ▶ 現代思想と社会思想史
- ▶ 課題あるいは展望
  
- ▶ 思想史の散歩道から

# 「短い20世紀」 (ホブズボーム) : 社会思想史

## ▶ 破局の時代 (1914-1945)

= 31年戦争

第1次世界大戦/第2次世界大戦

## ▶ 黄金の時代 (1945-1973)

= 冷戦・経済成長・福祉国家

1973年オイルショック

## ▶ 危機の時代 (1973-)

1976年社会思想史学会創立

1980年代新自由主義の時代

1991年ソヴィエト社会主義体制の崩壊

グローバル経済の時代

## ▶ 反ファシズム : 革命と変革の精神史、思想史

▶ 主題 : 近代的個人と社会/封建制、共同体/  
体制問題/歴史

▶ イギリス分析哲学

▶ フランス実存主義、構造主義

▶ ドイツ・アメリカ : フランクフルト学派

▶ 日本 : 社会科学の思想、社会思想史  
講座派マルクス主義・市民主義

## ▶ ポストモダン : 脱近代 : 文明化過程の思想史

▶ 主題 : 構造と諸類型/文明と非文明

▶ 言語論的転回、構造主義、人類学、

▶ 社会史、民衆思想史、女性史、日本近代化論、システム論

# 社会思想史の個人史的参照文献

## ---日本

- ▶ 破局の時代（1914-45）
- ▶ 黄金の時代（1945-73）
- ▶ **近代の内在的批判**（「市民社会と社会主義」「ヴェーバーとマルクス」）
- ▶ 主題としての**近代的個人と歴史**
- ▶ 『日本資本主義発達史講座』（1932-33）
- ▶ 『日本資本主義分析』（1934年）
- ▶ 『近代欧州経済史序説』（1944年）
- ▶ 『日本政治思想史研究』（1952年）
- ▶ 『経済学の生誕』（1953年）
- ▶ 『近代人の形成』（1954年）
- ▶ 『社会思想史概論』（1962年）
- ▶ 『社会科学の方法 ヴェーバーとマルクス』（1966年）
- ▶ 『資本論の世界』（1966年）
- ▶ 『日本資本主義の思想像』1967年
- ▶ 危機の時代（1973-）
- ▶ **近代の向こうへ**
- ▶ 主題としての**構造と脱出**
- ▶ 安丸良夫『日本の近代化と民衆思想』（1974年）
- ▶ 良知力『向こう岸の世界史』（1978年）
- ▶ 網野善彦『無縁・公界・楽』（1978年）
- ▶ 水田珠枝『女性解放思想史』（1779年）
- ▶ フーコー『言葉と物』（翻訳1974年）

# 社会思想史：二つの方法

## 体制の思想史：反体制と抵抗の思想史

### ▶ 主題

近代的個人と社会  
国民国家と近代社会  
共同体と市民社会  
近代と現代  
資本主義と社会主義  
帝国主義と全体主義

### ▶ 体制の社会思想史

社会観の歴史

支配と統合の思想

大塚金之助、城塚登、出口勇蔵

### ▶ 反体制の社会思想史

思想の社会的態度の歴史

近代的個人の思想史

疎外論とイデオロギー暴露

# 社会思想史の個人史

## 市民社会の思想史⇒公共圏の思想史

### ▶ 1989年フランス革命200年

#### ▶ 修正主義：F.フユレ、K.M.ベイカー

▶ 『啓蒙の弁証法』（アドルノ、ホルクハイマー）

▶ ハーバマス

▶ パーソンズ

▶ ハイエク

▶ ウォーラシュテイン

▶ トクヴィル・ルネッサンス

### ▶ 市民社会の思想史の時代

▶ 「シャルル・フーリエの文明批判とアソシアシオンの構想」  
（修士論文）1975年

▶ 『フランス啓蒙思想の展開』 1989年

▶ 『社会思想史への招待』（共編著）1991年

### ▶ 公共圏の思想史到達まで

▶ 「革命とそれ以後における自由と公共」（1989年）

▶ 水田洋、安藤隆穂「戦後50年を通り過ぎた思想家たち」  
1995年

▶ 『フランス革命と公共性』（編著）2003年

▶ 『フランス自由主義の成立』 2007年

# 1968年

## ---戦後社会科学の思想

- ▶ ヴェトナム戦争（帝国主義と資本主義）
- ▶ チェコとプラハの春（帝国主義と社会主義）
- ▶ 中国文化大革命
- ▶ 学生反乱
- ▶ 70年安保、沖縄
- ▶ 公害
- ▶ 核問題
- ▶ サルトル・アルチュセール
- ▶ フーコー・デリダ
- ▶ ボーボワール
- ▶ 僕の思想史入門
- ▶ 東洋思想史ゼミナールと戦後社会科学
- ▶ マルクス、レーニン、ヴェーバー、パーソンズ
- ▶ ヴェーバー
  - ▶ 宗教社会学
  - ▶ 支配の社会学
  - ▶ 社会主義論（レーニンとヴェーバー）
  - ▶ パーソンズと日本近代化論

# 『社会思想史概論』（1962年）の世界 ⇒ 『新原稿社会思想小史』（2006年）

- ▶ 近代的個人
- ▶ 民族（国家、主権、国民）
- ▶ 階級
- ▶ 近代社会（市民社会・共同体）
- ▶ 体制（資本主義・社会主義）
  
- ▶ 二つの読み方
  - ▶ 社会思想の歴史
  - ▶ **社会思想史**
  
- ▶ **近代的社會観成立史**
  - ▶ マキャベツリ、ホッブズ、スミス
  - ▶ ルソー、カント、ヘーゲル
  - ▶ J.S.ミル
  - ▶ 初期社会主義
  - ▶ 1848年とマルクス
  
- ▶ **社会主義思想史**
  - ▶ **思想の社会史的転位**
  - ▶ **比較思想史**
  - ▶ **日本の近代**

# 『フランス啓蒙思想の展開』（1989年）

## ---問題と展望

- ▶ 切断と発展：比較思想史
- ▶ 啓蒙思想⇒市民革命の思想
- ▶ 啓蒙的立法⇒市民社会
- ▶ ヴォルテール---（スミス）---コンドルセ夫妻---B.コンスタン
- ▶ ヴォルテールの復権
- ▶ 百科全書派の再読
- ▶ 重農主義の相対化
- ▶ モンテスキューの再読
- ▶ ルソー再措定
- ▶ ヴォルテールとスミス
- ▶ フランス道徳哲学の水脈
- ▶ デイドロとルソー再解釈
- ▶ チュルゴ---コンドルセの発見
- ▶ フランス革命の世界史的位罫
- ▶ 自由主義と市民社会という文脈
- ▶ コンドルセの市民社会像
- ▶ フランス革命の思想像
- ▶ フランス市民社会論の成立

# 戦後思想批判と歴史像

- ▶ フランス修正主義（フュレ）
  - ▶ トクヴィル文明化論の復権
  - ▶ ドイツ文明過程論（エリアス）・概念史（リーデル）
  - ▶ ケンブリッジ文脈主義（スキナー）
  - ▶ フランクフルト学派の分解（ハーバマス、アレント）
  
  - ▶ 歴史像の転換・歴史の終わり
  - ▶ **市民革命論から文明化論へ**
- ▶ 「人間および市民の諸権利の宣言」（1789年）再読
  - ▶ 革命か統合か
  - ▶ 文明化と市民の優位
  - ▶ 近代的個人の危機
  
  - ▶ 革命か文明化か
  - ▶ 歴史か構造か（歴史における個人）
  - ▶ 体制か反体制か
  - ▶ 唯名論の終末：言語論的転回

# パリの窓から

## ▶ スミス研究・コンドルセ研究

- ▶ 国際啓蒙思想学会第6回大会（ブリュッセル1986）
- ▶ 「アダムスミス死後200年記念名古屋国際シンポジウム」（1991）
- ▶ 国際啓蒙思想学会第8回大会（ブリストル1992）
- ▶ 「パリ国際シンポジウム：アダム・スミスと植民地」（1994）

## ▶ 方法的意識

- ▶ 「フランソワ・ケネー国際シンポジウム」（ヴェルサイユ1995）
  - ▶ D.ウインチ、A.スキナー、I.ロス
  - ▶ J.エシュト、G.ファッカレーロ、Ph.シュテネル、J.P.ラグラーヴ
- ## ▶ 自由主義の新研究
- ## ▶ 公共圏の思想史
- ▶ K.M.ベイカー、M.オズーフ

# 『フランス自由主義の成立』

## 「自由と公共」「公共圏の思想史」

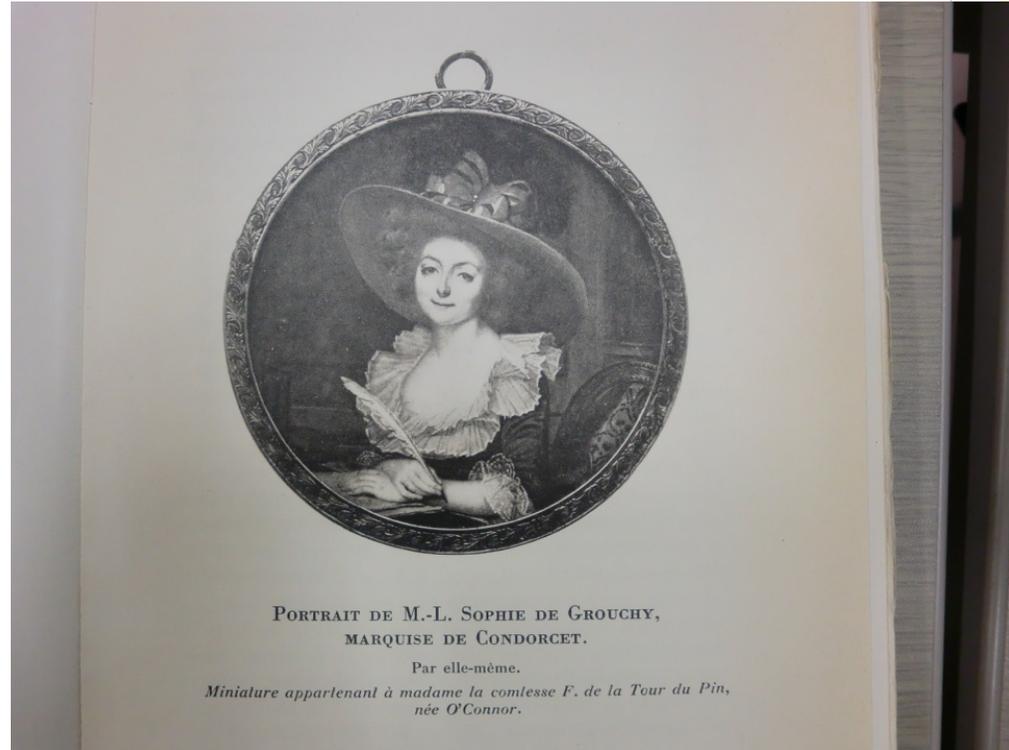
- ▶ フランス自由主義の諸潮流
  - ▶ 18世紀重農主義
  - ▶ 革命後経済自由主義 (J.B.セー)
  - ▶ 19世紀政治的自由主義
    - ▶ ギゾー的文明化
    - ▶ コンスタン立憲主義
- ▶ K.M.ベイカー、C.P.ウェルチ、A.O.ハーシュマン、P.クレペル、P.ローザンヴァロン
- ▶ E.ロスチャイルド
- ▶ 文明化過程の自由主義
- ▶ 新しい自由主義像を求めて
- ▶ チュルゴ⇒コンドルセの自由主義
  - ▶ 道徳哲学と公共圏
  - ▶ スミスとコンドルセ
  - ▶ 自由主義と共和制
- ▶ B.コンスタンとスタールの自由主義へ
  - ▶ ハイエク・欧米研究批判
  - ▶ コペ・グループと大陸自由主義
  - ▶ スミス道徳哲学の大陸漸進
- ▶ 人間と市民の分裂：自由主義

# 『フランス自由主義の成立』 研究の現場から

## ▶ グルーシイ家のソフィー

- ▶ デュパチと寛容論・法廷の公開
- ▶ ルーシエと『国富論』
- ▶ ソフィーと『道徳感情論』
- ▶ ネットケル及びスタール
  
- ▶ 妹シャルロット：カバニス夫人
- ▶ 兄エマニュエル：ナポレオン軍将軍
- ▶ 経済⇒公共：政治・道徳・文学

## ▶ 画家ソフィー



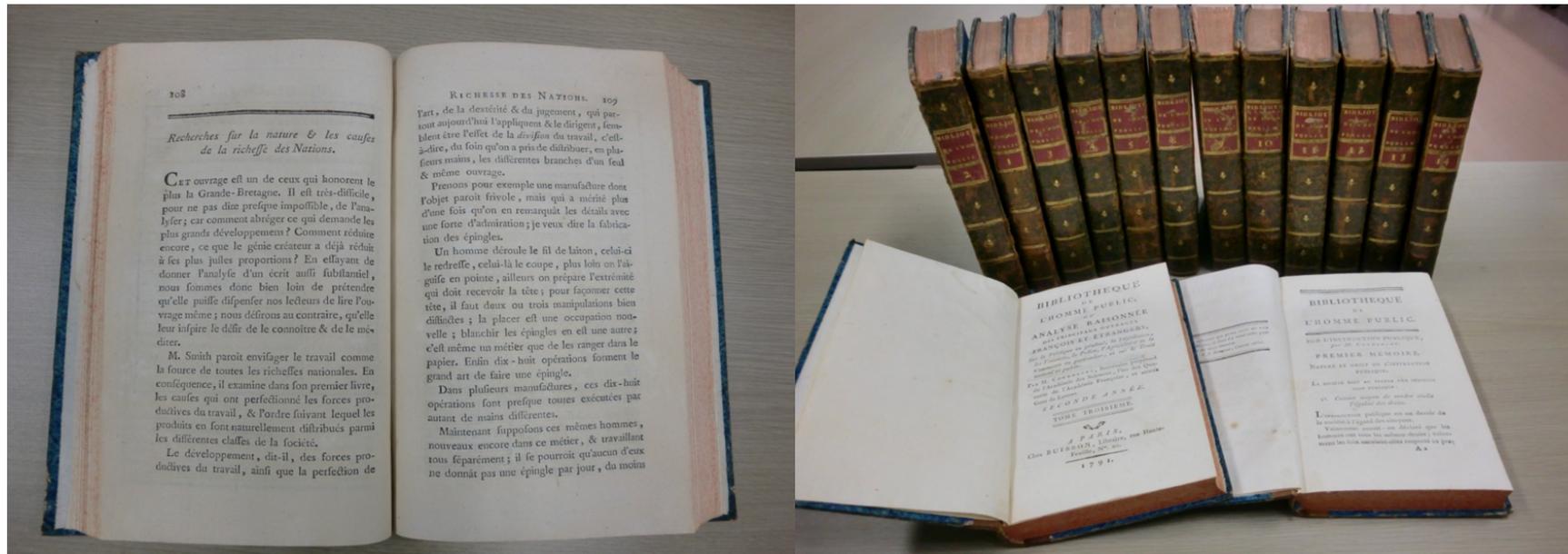
コンドルセ (1743-94)

ソフィー・コンドルセ (1764-1822)



# 『フランス自由主義の成立』 研究の現場から：「国富論解説」物語

- ▶ 『公人叢書』に入れられた  
コンドルセ「国富論解説」
- ▶ 『公人叢書』目次
- ▶ アリストテレス、ボーダン、  
マキャベッリ、ロック、ヒューム、  
ルソー、スミス、・・・



# フランス現代思想と社会思想史

- ▶ フーコーの知の考古学と思想史
- ▶ 社会思想史的批判
- ▶ 近現代
- ▶ イデオロギー暴露による主体の探求
- ▶ 規律と訓練（ディシプリン）
- ▶ 歴史の回復
- ▶ 権力の偏在化
- ▶ 「イデオログ」の再解釈
- ▶ 主体の不在
- ▶ 知の考古学
- ▶ 思想の系譜学
- ▶ 概念史
- ▶ 脱歴史

# 課題あるいは展望

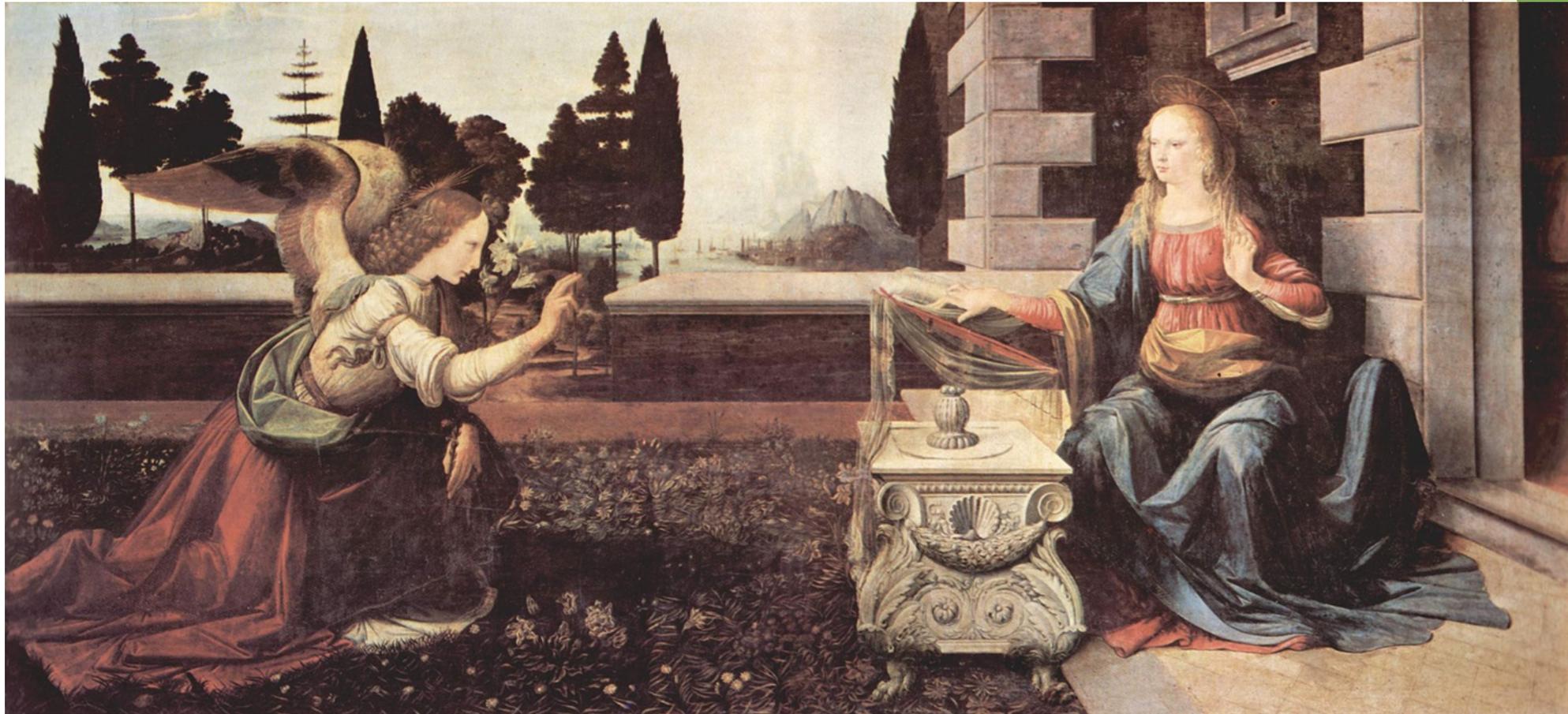
- ▶ 市民革命論⇒文明過程論
- ▶ 体制と革命⇒統合と政治文化
- ▶ 政治の優位

- ▶ 「民主主義と社会主義」（市民社会論）⇒「自由主義と公共圏」

- ▶ 人間の優位

- ▶ 公共圏の思想史研究
- ▶ 自由主義
- ▶ ソフィー・コンドルセ---スタール
- ▶ 大陸自由主義
- ▶ コペ・グループ・比較思想史
- ▶ 東西比較思想史
- ▶ 日本近代思想史と東アジア公共圏

思想史の散歩道から  
近代人の誕生：ダ・ヴィンチ「受胎告知」  
(1472-73年)



近代の中へ：モネ 日傘をさす女性（1875年）



# 1968年の国家、市民社会、人間

## ▶ 大学紛争（市民戦争）



[http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/activities/model-program/library/UTW\\_History/Page04.html](http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/activities/model-program/library/UTW_History/Page04.html)

## ▶ ベトナム戦争（権力と個人）



[http://en.wikipedia.org/wiki/Eddie\\_Adams\\_%28photographer%29](http://en.wikipedia.org/wiki/Eddie_Adams_%28photographer%29)

# ソフィー・コンドルセ自画像／ゴヤ

▶ ソフィー・コンドルセ1800



▶ ゴヤ1797-1800?



# 市民革命：人間と市民 ゴヤ／ドラクロア

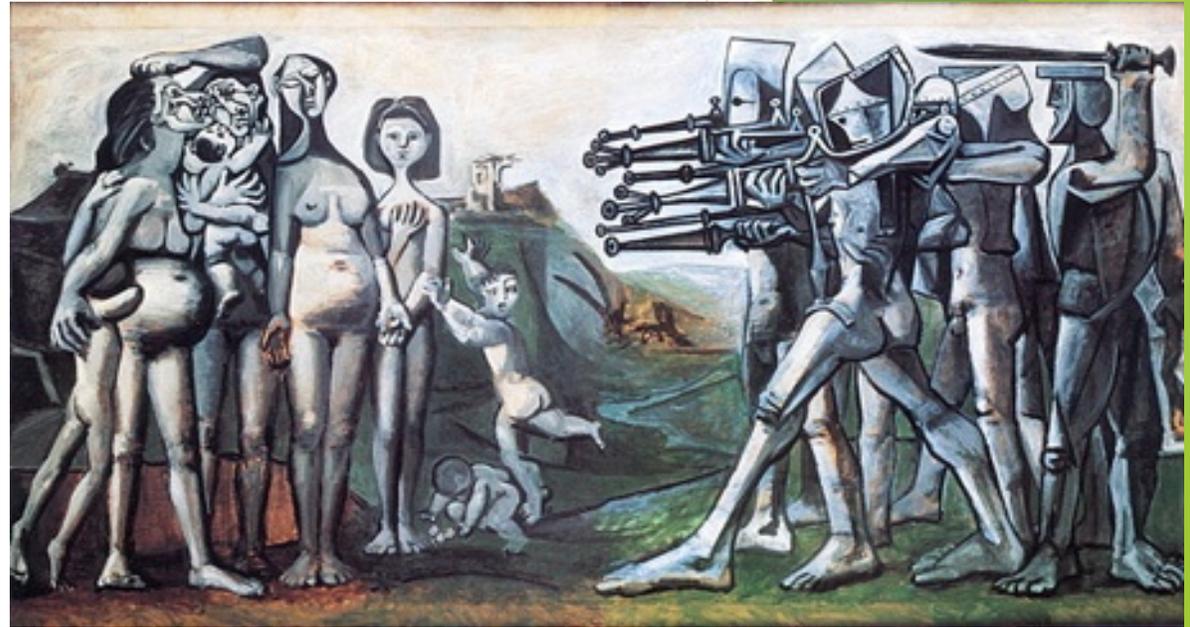


ゴヤ：マドリード1808年5月3日  
プリンシペ・ピオ丘での銃殺（1814年）



ドラクロア：民衆を率いる自由の女神  
1830年7月28日（1830年）

## ピカソ「ゲルニカ」(1937)



## 「朝鮮の虐殺」(1951)

# 南京：虐殺紀念館（2012年）



“

風はおのが好むところを吹く

”